

平成29年度

事業報告

社会福祉法人あまくさ福祉会

平成29年度 指定特定相談支援事業報告

○計画相談支援

【1】目的

障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法を用いて継続的に支援していくことにより、地域で安定した生活を送れるよう支援することを目的とする。

【2】事業内容

- (1) 本人のニーズの把握
- (2) 利用者宅を訪問し、面接によるアセスメントを実施
- (3) 計画作成の手続き
- (4) サービス等利用計画の原案作成
- (5) サービス担当者会議の開催、サービス等利用計画原案についての意見聴取
- (6) サービス等利用計画の原案を利用者に説明
- (7) 定期的なモニタリング、継続的な支援
- (8) 必要に応じ、サービス等利用計画の変更、サービス利用者等との連絡調整

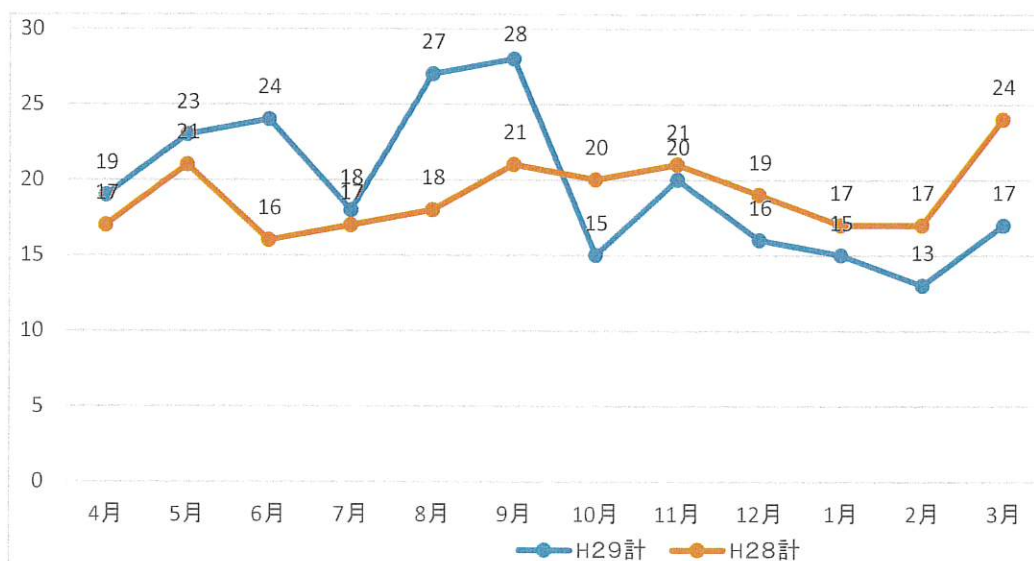
【3】サービス利用計画作成対象者数

単位(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	11	8	5	8	7	2	7	2	2	2	7	61
モニ	19	12	16	13	19	21	13	13	14	13	11	10	174
H29計	19	23	24	18	27	28	15	20	16	15	13	17	235

新規	2	4	4	6	6	3	7	7	4	1	6	10	60
モニ	15	17	12	11	12	18	13	14	15	16	11	14	168
H28計	17	21	16	17	18	21	20	21	19	17	17	24	228

(注) 新規……サービス等利用計画の作成
モニ……モニタリング



【4】登録者数 66名(平成30年3月31日現在)

○基本相談支援

【1】目的

・障がい者やそのご家族、また関係機関等からの相談に応じ、その当事者の方が地域で安心して日常生活を営むことができるよう、その人に何が必要なのかを考え、その人に応じた支援を実施していく。また市町村における相談支援事業が適正かつ円滑に実施されるよう、一般的な相談支援事業に加え、専門的知識を持った職員により、相談支援機能の強化を図ることを目的とする。

【2】事業内容

①福祉サービスの利用援助

* 障害者自立支援法に規定されたサービスに関する助言・指導・援助等

②社会資源を活用するための支援

* 就労に関する助言・指導・支援

* 就労ネットワークの構築

* 社会保障等に関する助言・指導・支援等

③社会生活力を高めるための支援

* 病気や治療、精神的問題など日常生活に関する助言・指導・支援

④ピアカウンセリングに関する業務

* 人材育成を行っていく

⑤権利擁護のために必要な援助

* 人権、権利の擁護に関する支援等

⑥専門機関の紹介

* インテーク、他施設・機関等の紹介等

【3】相談件数

単位(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
天草市	90	85	49	85	90	45	80	77	102	107	80	112	1002
上天草市	5	10	20	6	5	5	8	5	6	10	15	11	106
苓北町	2	3	2	11	15	8	6	5	11	7	11	10	91
その他	0	0	2	0	0	0	4	0	0	5	1	3	15
合計	97	98	73	102	110	58	98	87	119	129	107	136	1,214

○ H29年度の振り返りとH30年度の取り組みについて

サービス利用作成において平成29年3月末で相談実利用者は56名で平成30年3月末で66名であった。単純に10名増であった。今年度は昨年度の目標人数75名に届かなかった為、引き続き平成30年度も目標を登録者数75名に据え置き基本相談員及び計画相談支援の人員増加を目指す。目標達成に向け、新規登録者の開拓、その為には行政及び病院、関係機関との普段からの連絡網を大事とした。同時に、相談支援専門員の資質向上を目指す。

平成29年度 生計困難者レスキュー事業報告

【1】目的

- ・ 社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者への心理的不安の軽減や公的な制度やサービス等への橋渡しを行う事を目的に、生計困難者に対する相談・支援事業を実施
- ・ 支援事業として、生計困難者が公的な制度やサービスなどを受けられようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事提供等の経済的援助を実施

【2】事業の特徴

- (1) 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- (2) 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- (3) 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- (4) 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- (5) 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

※平成30年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	0	件		
2) 支援終了記録提出	0	件		
3) 基金支払請求	0	件	計	91,866 円
4) 支援継続中	0	件		

(2) 支援内容集計表

月別相談 受付件数	
--------------	--

4月	1件
5月	2件
6月	1件
7月	件
8月	1件
9月	1件
10月	件
11月	1件
12月	1件
1月	1件
2月	件
3月	件
計	9件

対象者 年代別	
------------	--

20代	2
30代	2
40代	0
50代	3
60代	1
70代	1
80代	0
計	9

対象者 男女別	
------------	--

男	7
女	2
計	9

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行支援回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
39.9歳	14.1日	3.55回	3回	91,866円	10,207円

○ H29年度の振り返りとH30年度の取り組みについて

社会福祉法人の社会貢献活動としての本事業が浸透化し参加法人も増加傾向にある。生計困難者の心理的不安の軽減や公的な制度、サービス等へのサービスなどへの橋渡しを行っていきたいと考える。また、生計困難者が公的な制度やサービスを受けられるようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付や一時的な住まい、食事の提供など迅速かつ的確に行えるよう行政及び関係機関と情報共有しながら経済的にサポートしていきたい。

生活介護事業 事業報告

【1】サービス内容

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

【2】対象者

地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設に入所する場合は区分4)以上
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設に入所する場合は区分3)以上
- (3) 障害者支援施設に入所する方であって障害支援区分が区分4(50歳以上の場合は区分3)より低い方のうち、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案の作成の手続きを経た上で、市区町村が利用の組み合わせの必要性を認めた方

※ (3)の方のうち以下の方については、原則、平成24年4月以降の支給決定の更新時にサービス等利用計画案の作成を行なった上で、引き続き、生活介護を利用することができます。

・法の施行時の身体・知的の旧法施設(通所施設も含む)の利用者(特定旧法受給者)

・法の施行時に旧法施設に入所し、継続して入所している方

・平成24年4月の児童福祉法改正の施行の際に障害児施設(指定医療機関を含む)に入所している方

【3】施設概要

施設名称 地域生活支援センターグリーン
所在地 天草市佐伊津町401番5
定員 20名(平成30年3月31日時 登録12名)
管理者 長山 直仁

【4】運営方針

1. 利用者様が自立した生活、又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護・創作活動の機会の提供・日常生活能力の維持、向上のための支援を行います。
2. 事業所の実施にあたっては地域との結びつきを重視し、市町村・他の福祉サービス等と密接な連携を図るよう努めます。

【5】事業目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のこもった関わり、介護ができるように努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境を作り、職員と利用者が信頼し合える家庭的な環境づくりに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援ができるように努める。
- ⑤ 趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる持てる強みが発揮できるように努める。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援を行う。

【6】活動内容

(1)日中活動

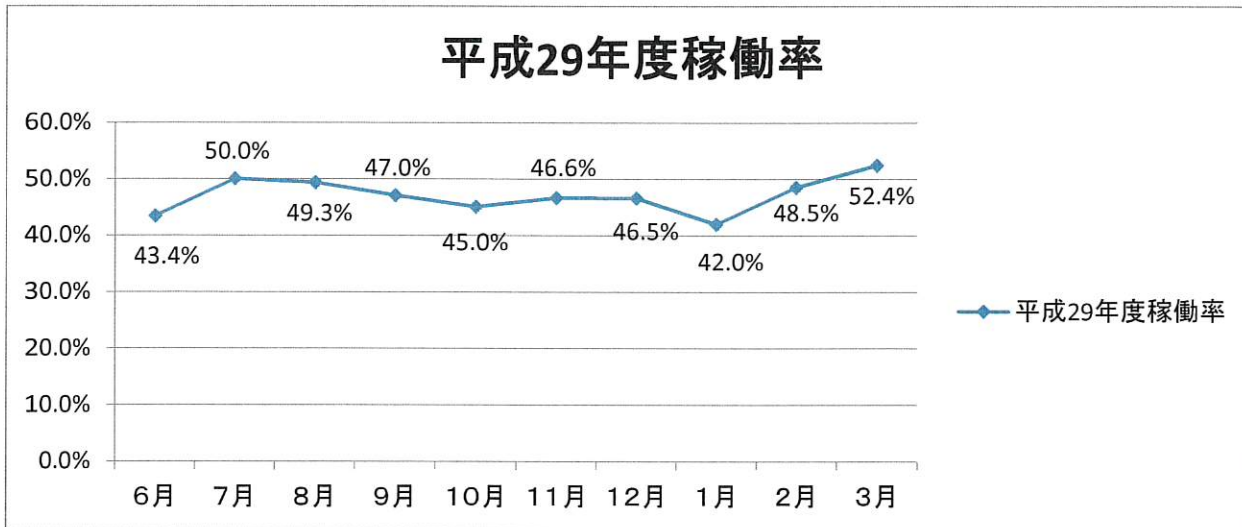
活動内容	主な活動内容
健康管理	体重測定、エアロビクス、散歩等
創作活動	貼り絵、ぬり絵、ビーズでの小物制作
趣味活動	書道、パソコン、散歩
社会資源活用	温泉、ショッピング、地域の行事参加
調理	料理教室、おやつ作り
レクリエーション	カラオケ、茶話会、季節行事
個別支援	予定確認、金銭計画、常時相談等
その他の行事・活動	グリーンフェスタ、スポーツ交流会、講演会等

(2)年間行事報告

4月		月例行事 ・誕生日会(随時) ・DVD鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・外出行事(随時)
5月		
6月	避難訓練	
7月	七夕	
8月	日帰り旅行	
9月	グリーンフェスタ、BBQ	
10月		
11月	紅葉狩り&ふるさと巡り	
12月	クリスマス会、大掃除	
1月	初詣、成人式(20歳・40歳・60歳・80歳)	
2月	節分(豆まき)・女性利用者お菓子作り(バレンタインデー)	
3月	ひな祭り・男性お菓子作り(ホワイトデー)	

【7】稼働率

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	191	230	227	207	207	205	214	193	194	241	47.1%
稼働日数	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率	43.4%	50.0%	49.3%	47.0%	45.0%	46.6%	46.5%	42.0%	48.5%	52.4%	
登録者数	10	10	10	10	10	11	11	11	11	12	



【8】平成29年度の振り返り

平成29年6月よりスタートし、当初10名だった登録者も3月時点で、12名となり稼働率も増加傾向にあるが、平均は50%を下回っている。次年度ではこの結果を踏まえて新たな利用者の獲得と定着をはかっていく事が必要だと考える。1月は、利用者の方の入院等もあり稼働率が低下しており、利用者の方それぞれに年齢層も幅広く、活動量にも差があるため、統一したプログラム活動だけではなく個別での対応が求められる。

自立訓練(生活訓練)事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

10名（平成30年3月31日時 登録9名）平成29年度新規利用者6名

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員(訪問兼務)	1名	

【5】利用期間

原則2年間(1年延長可)

【6】事業内容

(1)個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

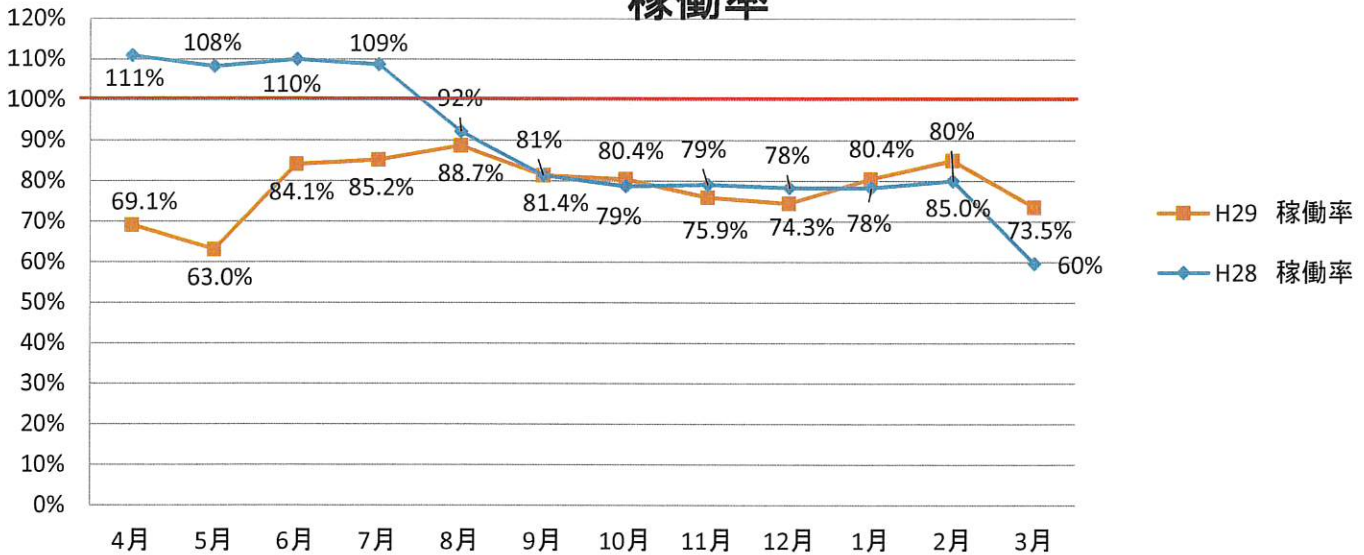
(2)訓練プログラム

プログラム内容	結果		主な活動内容
健康管理	125	回	スポーツ全般、バイタル測定、頭の体操等
コミュニケーション	61	回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	43	回	調理、栄養講座等
金銭管理	12	回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て
社会資源活用	34	回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	36	回	ボランティア活動、パソコン講座、掃除等
文化・芸術	108	回	創作活動、ガーデニング等
生活支援	29	回	衛生面での指導、病気の予防に関する勉強会等
個別支援	51	回	予定確認、金銭計画、相談等
その他の行事・活動	47	回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合計	546	回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	152	145	185	196	204	179	185	167	171	185	170	169	78.4%
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率	69.1%	63.0%	84.1%	85.2%	88.7%	81.4%	80.4%	75.9%	74.3%	80.4%	85.0%	73.5%	

稼働率



【8】平成29年度の振り返り

前年度の稼働率(平均88.8%)に比べ今年度の平均は78.4%と低下する結果となった。原因としては29年度4月スタート時は7名が利用されていたが、入院された利用者1名や訓練終了となった利用者4名に対し、新規利用者が7名だった内、利用日数が月14日が3名、内2名が欠席日が多くあるため稼働率が伸び悩んだ。次年度では、出席を増やす様対策、支援して行き、新規利用者の獲得を行なって行く必要がある。また、利用者については訓練プログラムを通し一人ひとりのニーズに沿いながら支援を行う中で少しずつ成長が見られる部分や安定して生活を送れる事が出来るようになった方もいると感じている。次年度は今年度の反省点も改善し、これまで以上に利用者一人一人に寄り添い自立に繋がる支援を行っていきたいと考えている。

【9】研修・勉強会参加実績

- ・第37回精神保健福祉会 天草地域家族会 講演会
「最近の病院精神科医療～当院の経験から～」
- ・天草こころの健康づくりの集い
「みんなが幸せになるために」
- ・第47回熊本県精神障がい者家族大会
「家族のリハビリを願って～真実に向き合う力をつけるには～」
「親あるうちに成年後見～家族でなく社会で支える～」

就労継続支援A型 事業報告

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す

【2】目的

作業能力は高いが、一般企業に雇用される事が困難な障がい者の方で、適切な支援・雇用契約等に基づき就労して頂き、生産活動その他の活動の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行う。

【3】利用対象となられる障がい者の方

生活リズム、金銭管理、服薬管理、食生活、協調性がある程度身についておられ、就労を継続して行うことが可能な障がい者の方

【4】作業内容

・製麺(うどん製造・販売) ・グリーンパーク ・委託農作業

【5】利用定員

・10名(平成30年3月31日 登録3名)

【6】利用期間その他

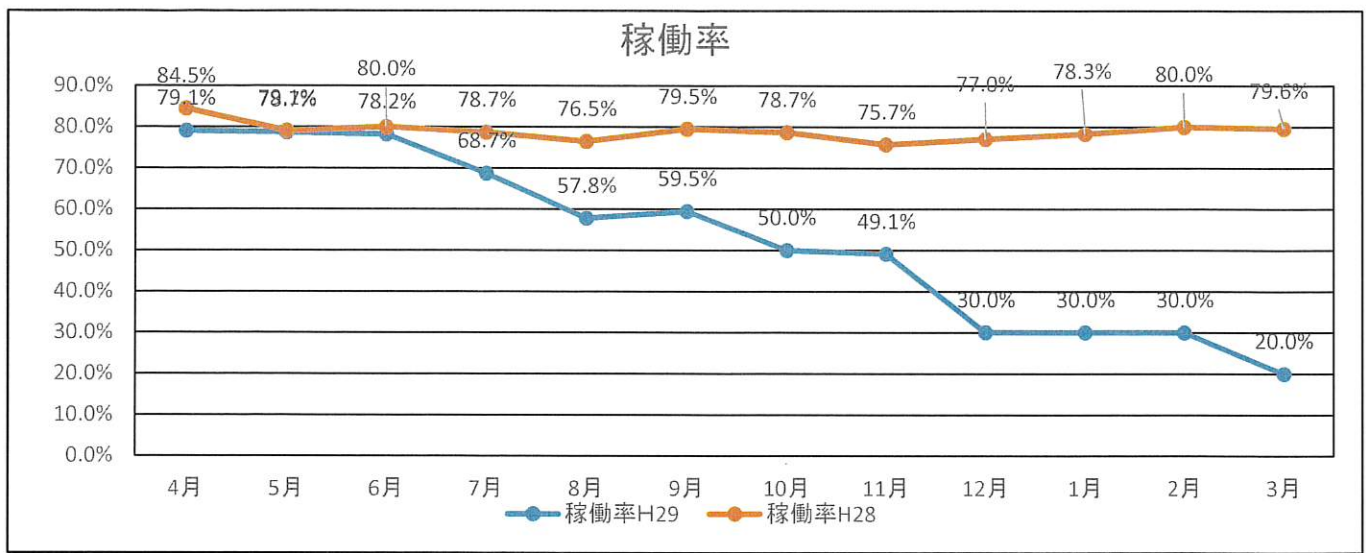
利用期間の定めなし。(原則65歳未満)

【7】販売会

期 日	販売会 名称	販 売 場 所
平成29年5月26日	天草地域家族会総会販売会	天草広域本部(天草地域振興局)2階
平成29年6月3日4日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成29年6月23日	くまもと障がい者スポーツ大会販売会	アスパル富合(熊本市南区役所内)
平成29年8月26日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成29年10月1日	H29年度天草市健康福祉講演会/福祉施設製品販売会	天草市民センター
平成29年10月15日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成29年10月21日	ゆうすい祭	ゆうすいの里
平成29年10月22日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成29年11月18日、19日	火の国フェスティバル販売会	天草市民センター
平成29年11月23日	こすもす秋の大感謝祭	こすもす園
平成29年12月4日	こころの健康づくりの集い販売会	天草中央保健センター
平成30年1月16日	H29年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
平成30年2月17日	2018天草つんでフェスタ	天草市民センター

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者人数	8	8	8	7	6	6	5	5	3	3	3	3	
利用回数	174	181	170	158	133	131	115	108	69	68	57	46	
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
稼働率H29	79.1%	78.7%	78.2%	68.7%	57.8%	59.5%	50.0%	49.1%	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	52.6%
稼働率H28	84.5%	79.1%	80.0%	78.7%	76.5%	79.5%	78.7%	75.7%	77.0%	78.3%	80.0%	79.6%	79.0%



・利用者人数の減少から、稼働率が下がっている。

【9】 月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	製麺売上	年間売上
売上	¥72,814	¥92,427	¥148,028	¥554,799	¥301,327	¥78,703	¥3,077,130	¥4,038,979
GP	109620	109620	101500	109620	91350	¥91,350		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	GP売上	
売上	¥208,118	¥180,418	¥988,087	¥118,544	¥197,401	¥136,464	¥961,849	
GP	¥83,045	¥83,045	¥49,827	¥49,827	¥49,827	¥33,218		

※H28年度 製麺売上: ¥2860013 GP売上: ¥1377448 ⇒ 計 ¥4,237,461

【10】 H29年度振り返り

製麺作業については、利用者の減少や気分・体調の変動から暫く休んでしまったりと、安定して就労できる利用者が少なくなっていた状況はあったが、その中でも利用者自身が作業工程をよく理解され、応用力もでてきた部分もあり、作業量が多くても、状況を判断して手際よく作業ができていた。

売上に関しては、前年度より減少した。製麺での売上げは伸びたが、利用者の人数が減った事でグリーンパーク（施設外就労）での収入減があり、結果年間売り上げの減少になった。

経営分析や販路拡大については毎年の課題であり、販路については、今年度は1か所のみ取扱店が増えたが、もっと積極的に活動しなくてはならない。現代のネット社会においてSNSの積極的な活用を研修会でも言われていたので、顧客の目を引く、話題性にとんだ広告なども取り組んでいきたいと思う。

また、顧客ニーズに沿った新しい麺の開発にも取り組んでいきたいと思う。

【11】研修会等

- ・第1回、2回、3回工賃向上研修会
- ・天草地域福祉施設製品販売促進会議
- ・第1回天草地域自立支援協議会就労部会定例会
- ・熊本県障害福祉サービス等従事者基礎研修
- ・サービス管理責任者研修
- ・相談支援従事者初任者研修
- ・平成29年度 熊本県天草障がい者就業・生活支援センター連絡会議
- ・平成29年度 指定障害福祉サービス事業者等集団指導

【12】 商品取扱店

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ・ミナクルショップ明日香 | ・ペルラの湯舟 |
| ・ユメール | ・いけす料理やまもと |
| ・とれたて市場 | ・居酒屋あまくさ村 |
| ・藍の村観光株式会社 | ・ビーフヤヒロ |
| ・株式会社クリエイションWEB
PLANNING | ・有限会社明成 |
| ・リップランド | ・うどんの店野の花 |
| ・直売所わかみや | ・海女ちゃん食堂 乙姫屋 |
| ・海鮮蔵 | ・HAND MADE(喫茶・軽食) |

就労継続支援B型 事業報告

【1】施設の名称

就労サポートセンターび～す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する為、委託による農作業・訓練・創作活動・生産活動を行い、心のリフレッシュを図ると共に自らの自立心を向上できる為の支援を行います。

このサービスを通じて生産活動や就労に必要な知識や能力が高まった方は、就労継続支援(A型)や一般就労への移行を目指します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであつて、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであつて、年齢や体力の面で雇用される事が困難

と思われる者。

② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者

③ ①及び②に該当しない者であつて、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等

【4】作業内容

クラフト製品の制作・販売

除草作業(一般家屋周り・公園・公共施設等)、その他

グリーンパーク場(球拾い作業)

委託作業(小川水産・みつのぶ農園)

【5】利用定員

20名(H30.1.31迄10名) 3月31日時、登録18名)

【6】利用期間その他

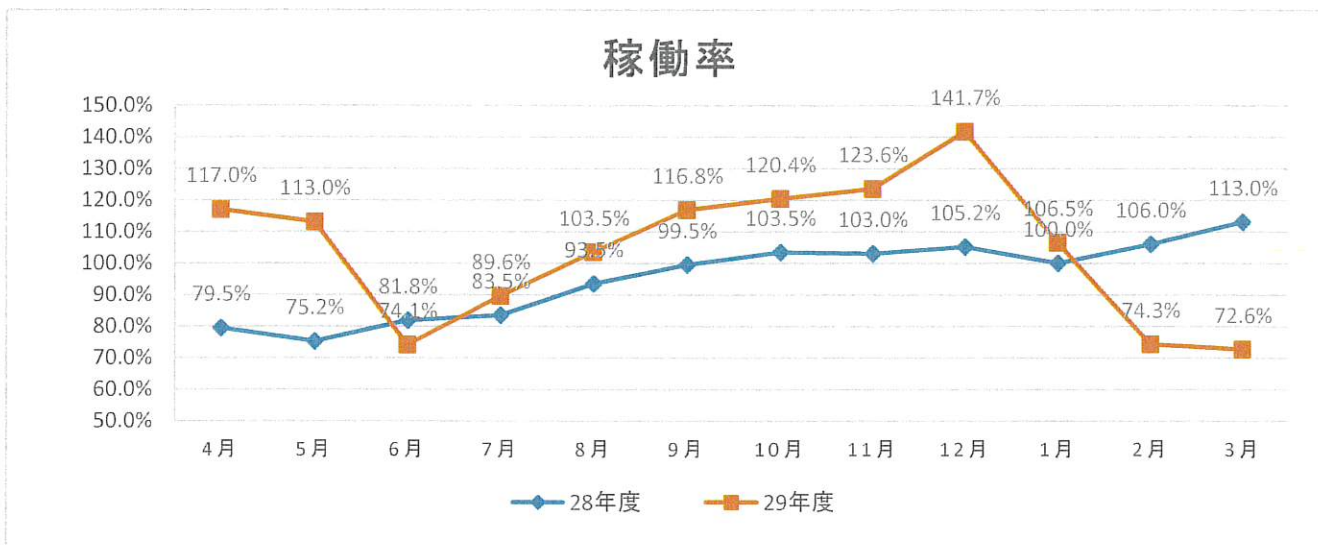
利用期間の定めなし

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
平成29年5月26日	天草地域家族会総会販売会	天草地域振興局 2階
平成29年6月3日4日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成29年6月23日	くまもと障がい者スポーツ大会販売会	アスパル富合(熊本市南区役所内)
平成29年8月26日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成29年10月1日	H29年度天草市健康福祉講演会 福祉施設製品販売会	天草市民センター
平成29年10月15日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成29年10月21日	ゆうすい祭	ゆうすいの里
平成29年10月22日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成29年11月18日、19日	火の国フェスティバル販売会	天草市民センター
平成29年11月23日	こすもす秋の大感謝祭	こすもす園
平成29年12月4日	こころの健康づくりの集い販売会	天草中央保健センター(天草市)
平成30年1月16日	H29年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
平成30年2月17日	2018天つのでフェスタ(天草地域福祉施設製品販売会)	天草市民センター

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率	
利用人数	13	13	9	10	11	12	13	13	15	15	15	18		
利用回数	258	260	163	206	238	257	277	272	326	245	205	249		
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
稼働率(28年度)	79.5%	75.2%	81.8%	83.5%	93.5%	99.5%	103.5%	103.0%	105.2%	100.0%	106.0%	113.0%	95%	
稼働率(29年度)	117.0%	113.0%	74.1%	89.6%	103.5%	116.8%	120.4%	123.6%	141.7%	106.5%	74.3%	72.6%	104%	



稼働率について：H29年度当初は定員10名だったが、H30年2月より20名に増。よって2月より稼働率の変動が起きている。

【9】月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	グリーンパーク
グリーンパーク	¥73,080	¥73,080	¥73,080	¥73,080	¥91,350	¥91,350	¥1,222,431
その他(施設内・外)	¥19,320	¥23,315	¥106,420	¥32,570	¥105,380	¥155,100	その他
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
グリーンパーク	¥99,655	¥99,655	¥132,873	¥132,873	¥132,873	¥149,482	計
その他(施設内・外)	¥23,760	¥20,520	¥31,590	¥115,380	¥93,940	¥107,740	¥2,057,466

※H28年度売上計＝¥1,250,390

【10】H29年度振り返り

H29年度はグリーンパーク、年二回の佐伊津地区運動広場の除草作業、一般宅の除草作業、小川水産、1月下旬からはみつのぶ農園での農作業など施設外就労に力を入れた1年となった。それにより、前年度から65%増の売上げに繋がった。

利用者の人数も増えて稼働率の上昇にはなったものの、利用者の能力の差と、体調の変動から作業の安定化が図りにくく、今後の課題でもある。

施設内就労においての収入が少ないので、作業内容を検討して売上げ向上を図っていかなければいけない。

【11】研修会等

- ・第1回、2回、3回工賃向上研修会
- ・天草地域福祉施設製品販売促進会議
- ・第1回天草地域自立支援協議会就労部会定例会
- ・熊本県障害福祉サービス等従事者基礎研修
- ・サービス管理責任者研修
- ・相談支援従事者初任者研修
- ・平成29年度 熊本県天草障がい者就業・生活支援センター連絡会議
- ・平成29年度 指定障害福祉サービス事業者等集団指導

【12】商品取扱店

- ・ユメール(天草市五和町)
- ・とれたて市場(天草市瀬戸町)
- ・道の駅有明物産館(天草市有明町)
- ・直売所わかみや(天草市五和町)

外部サービス利用型共同生活援助事業 事業報告

【1】施設名

グリーントパス

【2】目的

地域の共同生活住居において、家事・食事・相談など日常生活上の援助を行い、入居者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう支援を行う

【3】利用定員

10名（平成30年3月31日時 登録9名）平成29年度：退所者2名（入院1名・自立1名）、新規利用者1名

【4】利用対象者

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【5】利用期間

定めなし

【6】事業内容

（1）個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員とカンファレンス会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③3ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画が適正に行われているかを確認する。

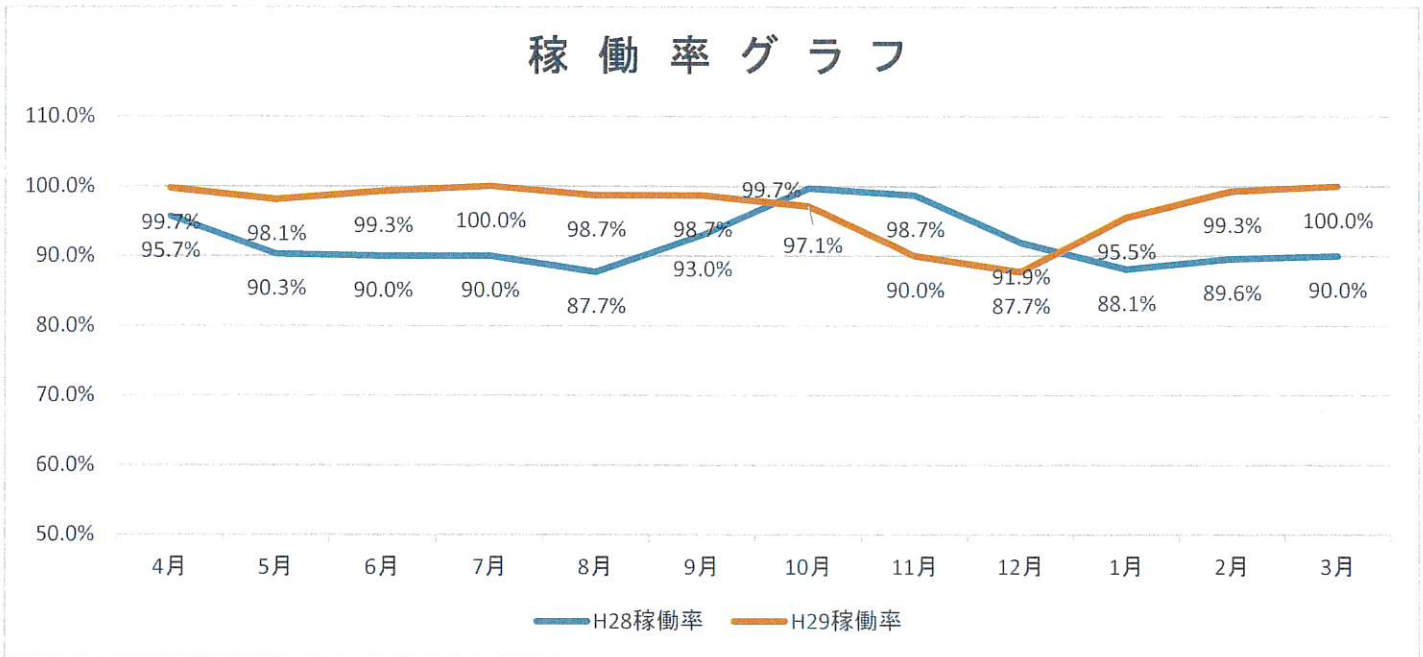
（2）支援内容

- ①食事の支援
 - * 栄養のバランス、入居者の身体の状況などに配慮した食事提供の支援を行う
- ②健康管理
 - * 入居者の健康管理に気を配り、入居者の状況に応じて受診同行等行う。また入居者の方の年齢に応じて、地域の健診、予防接種、健康相談を積極的に働きかけ実施していく。
- ③日常生活上の支援
 - * 社会で生活していく上で必要な知識（洗濯、清掃、整理整頓、着脱衣等）やマナーを身につけてもらうための支援を行う。
- ④日中活動支援
 - * 入居者が安心・安定して日中活動が行えるよう日中活動先との連絡調整を行う。
- ⑤金銭管理
 - * 必要に応じて入居者の預貯金の管理を行い、お金の使い方に対する指導・助言を行う。
- ⑥服薬管理
 - * 服薬の重要性を理解して頂き、必要に応じて入居者の服薬を管理し、処方に沿った服薬ができるよう指導・助言を行う。
 - * 地域の薬剤師と連携、入居者が気軽に薬の相談が出来る環境を整える
 - * 服薬管理を希望する入居者への支援
- ⑦相談及び援助
 - * 入居者及び入居者のご家族からの相談に応じ、内容に沿った支援を行う。
- ⑧コミュニケーションの支援
 - * 人との付き合い方を学ぶための支援を行い、入居者同士協調性を持って生活して頂く
- ⑨緊急時の対応
 - * 緊急時の対応窓口、施設防災対応として夜間宿直者の配置

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	299	304	298	310	306	296	301	270	272	296	278	310	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
稼働率	99.7%	98.1%	99.3%	100.0%	98.7%	98.7%	97.1%	90.0%	87.7%	95.5%	99.3%	100.0%	97.0%

稼働率グラフ



【8】入居者情報

性別 \ 年齢	18歳～20歳	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳
男性	0名	0名	0名	1名	3名	2名	0名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	1名	2名

【9】日中福祉サービス利用状況

施設名称 事業名称	地域生活支援センターグリーン		就労サポートセンターぴ～す		その他
	生活介護	生活訓練	就労継続支援A型	就労継続支援B型	
男性	2名	1名	1名	2名	0名
女性	2名	1名	0名	0名	0名
合計	4名	2名	1名	2名	0名

【10】会議及び研修

- 1、天草地域自立支援協議会
- 2、グループホーム職員会議
4月29日、5月27日、6月24日、7月29日、8月26日、9月30日、10月28日、11月24日、12月26日、1月26日
2月23日、3月24日
- 3、全体会議
4月3日、5月1日、6月1日、7月3日、8月1日、9月1日、10月2日、11月1日、12月1日、1月4日、2月1日、3月1日
- 4、利用者会議:随時

【11】今年度の振り返り

29年度は、満室10名でスタートしたが入院による退所が1名、自立しアパート生活を始める当事者が1名の合計2名がグループホームを退所することとなった。また、S病院より新規入居が1名あり、年度末は9名が入居している状態である。今後、入居者を1名増やし満床にするとともに、入居者が過ごしやすいグループホームを目指す。また、日々の料理(食事)にも工夫を凝らし季節感のある飽きないメニューを心がけていく。